

2020年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1490700307	事業の開始年月日	平成31年2月1日
		指定年月日	平成31年2月1日
法人名	(株)日本アメニティライフ協会		
事業所名	花物語いそご		
所在地	( 235-0016 ) 横浜市磯子区磯子3-2-30		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	27名
		ユニット数	3 ユニット
自己評価作成日	令和2年11月13日	評価結果 市町村受理日	令和3年4月6日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設の近隣には散歩が出来るプロムナードがありますので、天気の良い日には散歩へ出かけて季節感を味わっていただくとともに、近隣住民や子供たちとのふれあいを大切にしています。  
家事援助の中でも料理に力を入れており、入居者様が調理に関われるようにしております。  
また行事の際は3ユニット合同で開催し集まり、各ユニットだけでなく他のユニットの入居者様・職員との交流も大切にしております。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和2年12月15日	評価機関 評価決定日	令和3年3月30日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所はJR根岸線「磯子」駅から徒歩8分、国道16号線に面した、鉄筋コンクリート3階建ての建物です。磯子区の中心部にあり、周囲には区役所を始め、図書館、福祉保健センター、そして地区センターなどの公共施設が多く、すぐ近くに総合病院もあり、利便性に恵まれた環境に位置しています。

<優れている点>

料理はすべて手作りで、職員が思いを込めて調理しています。漬物も利用者の知恵を借りながらぬか漬けや塩漬け、醤油漬けと種類も豊富に漬けています。利用者の希望や季節の食材を取り入れて、行事食にも力を入れています。カウンター式キッチンなので調理する様子が見え五感を刺激しています。職員が「穏やかにこやかに」の理念を念頭に接する中で、利用者も食事の支度に参加したり、季節の飾りを作ったりとそれぞれが好きなことをして穏やかに過ごしています。

<工夫点>

利用者の基本情報の次のページに、ケアプランと介護記録を並べ両面見開きで確認できるように綴じています。プランと実施を連動して見ることにより、達成度や利用者の状態が一目瞭然で、見直しや次のケアプランを立てやすくしています。コロナ禍ですが、職員1人に対し利用者2人の小人数ごとに近隣の遊歩道やケアプラザまで散歩をしています。職員と往復を繰り返すことで利用者が日常的に外気に触れ気分転換を図っています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	花物語いそご
ユニット名	1階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	玄関や各フロアの目に触れる場所に理念を張り出し共有しています。また、毎朝の申し送りでも声に出して意識付けをしております。	事業所の理念は、開設時管理者が作成し、しなやかな文体の中にも利用者に対する管理者の深い思いが込められています。職員は入職時のオリエンテーションで理念の意味を学んでいます。各フロアに掲げた理念は、自然に職員に浸透しています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	日常的に散歩へ出かけ、地域の方や近隣の保育園児などと挨拶や世間話をしております。また、行事の際は近隣の商店で買い物をし入居者様と受け取りに出かけたりしております。	自治会に加入し、コロナ禍前は町内清掃や老人会で催す茶話会に参加したり、祭り見物に出掛けています。現在はマスクを付けて少人数ごとに散歩しています。事業所の周辺を歩きながら、顔馴染みになった地域の人と挨拶や言葉を交わし、短時間の交流をしています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地区の民生委員の方々に施設の見学会を実施し、見学後には施設の在り方等の説明をしております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は二ヶ月毎に開催し、事業所の報告をしております。また参加者から意見や助言を頂き、運営に活かしております。また、老人会や町内会の代表の方にも連絡を取り、新型コロナウイルスが終息した際にはお越し頂くことになっております。	年6回、家族が出席しやすい日程で開催しています。家族、管理者、ケアマネジャーが参加し、地域の情報や活動報告、事故・ヒヤリハット、職員の入退職・異動などを報告し話し合っています。コロナ終息後は関係機関や自治会からの参加を予定しています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議や事故報告をしています。5月には磯子区役所からの傾聴相談を利用する予定であったが開催できず、コロナが終息したら訪問を依頼してきます。	地域包括支援センターに困難事例を相談し、やりとりをする中で協力関係を深めています。区から配布された「磯子なつかしカルタ」を活用しています。また区役所の窓口に介護相談員の派遣を依頼し、事業所として支援の一環に繋げていく意向です。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	入居者様の日常行動を把握し、必要な方にはセンサーを設置させて頂き、身体拘束をしないケアに努めております。また虐待防止・身体拘束についての研修も行っております。	3ヶ月に1回身体拘束適正化委員会を開催し、スピーチロックを含め事例を上げて検討しています。帰宅願望など不穏な場合は、気持ちが違う方向に向くように場面を変えて対応するなど、身体拘束をしないケアに努めています。安全のため玄関は施錠しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。	自己点検シートを定期的に活用し、職員の心身の状況の把握に努めております。また虐待防止の研修を行っております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度を利用している方もおります。契約時や運営推進会議でも制度の説明をしております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、説明後に質問を受け付け、書面と口頭で確認をしています。また、十分な時間を取り、ご納得頂いた上で同意を得て、ご契約して頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族様が面会にいらした際にや電話があった際にはご本人様の近状報告をし、ご要望やご意見を聞くように心がけております。	家族の意見や要望は電話や面会時、運営推進会議で聞いています。要望で献立表の掲示やコロナ禍でも日常的な散歩を支援しています。利用者の要望は日々の会話やふれあいの中で汲み取っています。利用者の知恵を借りながら漬物を作ったり花や野菜作りをしています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の職員会議で意見や提案を聞き出し、議題として取り上げ皆で考える時間を設けております。また管理者も現場の現状把握、話しやすい環境づくりを心がけております。	月に1度の職員会議で行事の企画や問題提起をして話し合っています。その後各階ごとに具体的な話し合いをして運営に反映しています。管理者は現場に入ることも多く、職員はその場その場で提案や意見を伝え、管理者から助言や指示を受けています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	資格支援制度の活用や希望休や職員の希望の勤務の要望を取り入れております。また、行事担当者を決めてやりがいを持てるように努めています		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	定期的に研修を実施し、知識・技術の向上に努めております。また管理者も各現場で業務にあたり、実際に職員と仕事をし、スキルの把握をしております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内の他事業所にて、勉強会や研修を実施しております。情報の共有・サービスの質の向上に努めております。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居時にはアセスメントを取り、ご本人様が不安に思っていることや、困っていることを探り、解決に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様より、入居者様にどのような生活を過ごして頂きたいのかご希望を聞き取りしています。面会時には入居者様のご様子を報告し、ご家族様と職員が協力し合える関係づくりを心がけております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	必要に応じて行政、医療機関へ受診や連絡行い、支援を行っております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	家事全般を入居者様と行い、お互いのことを良く知り、協力・信頼し合える関係づくりを心がけております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様には日々のご様子や、近況報告に加え、入居者様の行きたい所や食べたいものなどのご希望や、ご要望を実現するために協力を得ています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	電話や手紙の取り次ぎ、ご家族様・ご友人様が面会にいらした際にはお茶を提供し、くつろいで頂ける環境づくりをしています。また外出行事にご家族様やご友人様が参加されたこともあります。	利用者は地元の人が多く、馴染みの店で職員と一緒に買物をしています。近所の人や友達の来訪時には湯茶を出してくつろぎやすい雰囲気作りをしています。入居前から通院していた病院を継続受診しています。昨年は家族の協力で墓参りに行った人もいます。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	家事を協力して行ったり、レクリエーションを通して、喜びや楽しみを共有しています。散歩や体操など、お互いに誘い合って声をかけています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後であったも、相談に応じることをお伝えしております。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話の中で困っていることや、ご要望を聞き出し、個々の希望に沿った生活支援を心がけております。	利用者の思いや意向は、入浴時の会話や散歩時に利用者が何気ない景色を見ながら発した言葉などから把握しています。また、レクリエーション介護士の資格を持つ職員も数名おり「回想法」を取り入れて、利用者一人ひとりの想いに沿った支援に努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時にはご本人様の生活歴や病歴、どのようなサービスを利用されていたかなどを、個人表にまとめ情報の把握・共有に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	介護記録に24時間その方がどのように過ごされたか内容を記載し、現状把握に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	介護職、看護師、医師などから意見を求め、話し合いをし、ご家族様とご本人様のご希望を取り入れたサービス計画を作成しております。また、介護職員はカンファレンス・モニタリングに参加しております。	入居時、本人や家族の希望を取り入れながら介護計画を作成しています。担当者会議には担当職員、計画作成担当者、家族、看護師、時には医師が参加して話し合っています。3ヶ月ごとにモニタリングを行い、6ヶ月に1度見直し、短期・長期目標を立てています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	介護記録に加え、日報用紙を活用しています。介護職員、看護師がそれぞれ気づきや特記事項などを記載し、情報の共有をしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	サービス提供事業所や、音楽ボランティア、傾聴ボランティアなどを活用しながら支援に取り組んでおります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	自治会や地域の行事に参加し、近隣の住民・商店の方と顔馴染みになれるように出かけた際には積極的に挨拶をし、楽しみのある暮らしが出来るように支援しております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	訪問医を利用して頂いています。また、希望者には入居前のかかりつけ医を継続してご利用して頂くことも可能です。受診時にご家族様・事業所が協議の上、入居者様に適切な医療が受けられるように支援しております。	入居時に主治医について説明し、従前の外来医療を継続の場合、受診は基本家族対応です。協力医療機関の医師が月2回、看護師週2回、歯科医は週1回の来訪があり、看護師が立会い、健康・服薬管理と往診内容を「往診結果報告書」に記載し家族、関係者間で確認共有しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員を配置し、入居者様の健康管理・心身の状況把握に努めています。訪問看護師は24時間オンコールに対応し、状況に応じた判断、指示を受けられるようにしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には訪問医から医療情報、施設からは日々の生活状況やご様子などの情報提供をしています。また、面会に伺い退院に向けて医療機関相談員と情報交換をしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化、看取りに関する指針について入居時に説明をし、同意を得ています。その方がどのような終末期を迎えるのが良いのかを話し合い、医療機関との相談・援助を行っております。	入居時に「重度化、看取りに関する指針」を本人、家族に説明し同意を得ています。重度化した際には改めて家族の意向を確認し、医師、看護師、家族、職員が相談し連携して対応することにしていきます。協力医とは24時間オンコール体制です。看取り経験はありませんが内部研修を実施しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対応についてはマニュアルを作成しています。看護師や消防隊員からの指導も受け、職員には研修や訓練を実施しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署立会いのもと、夜間想定も含めた避難訓練を実施しております。実践的な訓練後には災害図上訓練研修も行っております。また地域の防災訓練にも新型コロナウイルスが終息した際には参加する予定です。	防災訓練は年2回計画し、煙発生器を使用した夜間想定訓練も実施しています。本年度は新型コロナにより実質的な避難訓練は延期し「災害図上訓練」を行い、避難経路や対策の確認をしています。備蓄品は利用者及び職員分の食料品・水を5日分用意しています。	災害時の備品に、保存食の提供が出来るようカセットコンロやボンベを加え、食料品や飲料水、防災用品と共に賞味期限や在庫が確認できるリストを作成して管理することも期待されます。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者様の個々の生活歴や、価値観を大切に個性を損なわないように接し、人生の先輩として敬意を持ち、信頼関係を築くように心がけております。	運営規定に、一人の人間として尊重する事を明記しています。職員は新人研修やハラスメント研修で人格の尊重を学び、利用者の生活歴や価値観を大切にして、言葉遣いや対応の仕方に注意しています。個人情報に関する重要書類は施錠付書庫に保管しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者様が、ご希望・ご要望等を話しやすい環境づくりを心がけています。また何かを決める際に悩まれている時は、選択肢を提供し、自分で決めたと、実感・納得できるように支援しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個々の生活リズムを尊重し、ご本人様の意向を伺い、それに沿った生活を過ごして頂くよう心がけております。体調したくない、食欲がないなどの気持ちを理解し、時間や日にちの変更をし対応しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎月の訪問理美容をご利用して頂いています。起床時や入浴後にはヘアセットや髭剃りを行っています。また職員と洋服や靴の組み合わせを選び、着用、お化粧をするなどして、おしゃれを楽しんで頂いております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	職員と一緒に調理や盛り付けをして頂いています。施設内で野菜を育て、経過を楽しまれています。また、お食事行事ではリクエストを伺い、それに沿った献立作りをしております。	献立、食材は業者に委託し、利用者の好みや体調に合わせて調理しています。日々利用者の声を大切にしホットケーキやピザ、出前も取り入れ食に力を入れています。職員と共に野菜の皮むきや糠味噌漬を作るなど、コロナ禍以降も施設内で食事を楽しむ工夫をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎日の食事の摂取量、嚥下等の状態の観察・把握に努めています。また寒天ゼリーや、夏場にはスポーツドリンク、入居者様と作った梅ジュース、なども提供しております。		
###		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	口腔ケアの重要性について、訪問歯科医より指導を受けております。夜間は義歯をお預かりし、洗浄しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個々の排泄の間隔のパターンを観察し、トイレ誘導、声かけをしています。	全員の排泄記録をつけパターンを把握しています。定時の声かけや表情、様子から誘導を行いトイレで排泄出来るように支援しています。自立の人には見守りを行い、時には声かけもしています。オムツ使用の人が声かけや誘導により自立し、夜間のみオムツ使用の人がいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	食事・水分の提供、促しを行い体操や散歩、園芸などで身体を動かしています。便秘傾向の方は看護師・訪問医に相談しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	ゆず湯や、菖蒲湯等の季節の湯を楽しんで頂いています。また浴室内で職員と歌を歌ったり、ご自身の話をされたりとリラックスした環境づくりを心がけております。体調不良時や、拒否がある際には入浴日や時間の変更をしております。	週2回を基本に柔軟に対応し、浴槽は可動式で身体状態に合わせて利用できます。入浴は職員とコミュニケーションを深めたり、ゆず湯や菖蒲湯なども楽しめるようにしています。体調不良や拒否が見られる際は時間や曜日を変更し、希望者には同性介助を行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	眠気が強い際には昼寝を促したり、ソファにて休んで頂いたりしています。また、消灯時間も決めず、ご本人様が休みたい時間まで各々で過ごして頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬時のマニュアルを作成し研修をしています。服薬時には原則職員二名で口頭に加え、目で見て確認をしてから服薬を実施しています。薬の情報も確認できるようにファイリングしてあります。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	ご本人やご家族様から好きな事や趣味を伺い、家事や裁縫、盆踊りやスポーツ観戦等の好きな事を継続出来るように支援しております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日常的に散歩へ出かけています。また、近隣の食堂へ行ったり、ドライブや買い物、紅葉狩りなどにも出かけております。	例年は、花見や紅葉狩り、ドライブや買い物、近隣への外食などで外出の機会がありましたが、コロナ禍で外出を自粛しています。天気の良い日は周辺の散歩や駐車場での日光浴、プランターの花を眺めながら外気に触れる機会を多く取り入れ気分転換が図れるようにしています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族様と相談した上で管理のできる方には所持して頂いています。お金の管理が困難な方でも買い物ができるように、施設で立て替えしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	毎月お出しするご家族様への手紙は、居室担当者が書きますが、入居者様がメッセージを書かれることもあります。また、ご希望に応じて連絡し電話での会話の橋渡しをしております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節毎に作品を作り、展示しています。入居者様が書かれた詩や、ぬり絵、行事の際の写真なども飾っております。	共用空間は、温湿度、換気、照明の調節や衛生面に注意し環境を整え、雰囲気大切に落ち着いた場所を確保しています。職員にレクリエーション2級の資格所持者がおり、壁面には松竹梅のちぎり絵や折り紙と貼り紙で制作したゴッホの絵などを飾り、アイデアと工夫を凝らしています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロア内にソファを設置し、利用者様同士、またはお一人で過ごせるスペースを作っています。他の階への行き来も自由にしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居者様の馴染みの家具や時計、仏壇など、ご本人が使い慣れた物をお持ち頂き、居心地よく安心出来る環境作りに努めております。	居室には、エアコン、換気扇、照明器具、洗面台、クローゼットを備え、自宅から整理ダンス、テーブル、椅子や家族の写真など馴染みの物を持ち込み、利用者は居心地良く環境を整えています。テレビや椅子など家具の配置は安全性に留意して行っています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	夜間はトイレの場所が分かるように明かりを付けたまま、扉を開けています。食席は混乱しないように必要以上に変更しないように心がけ、マグカップやお箸は、新しくしても同じ柄にするなどの工夫をしております。		

事業所名	花物語いそご
ユニット名	2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	玄関や各フロアの目に触れる場所に理念を張り出し共有しています。また、毎朝の申し送りでも声に出して意識付けをしております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	日常的に散歩へ出かけ、地域の方や近隣の保育園児などと挨拶や世間話をしております。また、行事の際は近隣の商店で買い物をし入居者様と受け取りに出かけたりしております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地区の民生委員の方々に施設の見学会を実施し、見学後には施設の在り方等の説明をしております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は二ヶ月毎に開催し、事業所の報告をしております。また参加者から意見や助言を頂き、運営に活かしております。また、老人会や町内会の代表の方にも連絡を取り、新型コロナウイルスが終息した際にはお越し頂くことになっております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議や事故報告をしています。5月には磯子区役所からの傾聴相談を利用する予定であったが開催できず。コロナが終息したら訪問を依頼してきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	入居様様の日常行動を把握し、必要な方にはセンサーを設置させて頂き、身体拘束をしないケアに努めております。また虐待防止・身体拘束についての研修も行っております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている。	自己点検シートを定期的に活用し、職員の心身の状況の把握に努めております。また虐待防止の研修を行っております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度を利用している方もおります。契約時や運営推進会議でも制度の説明をしております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、説明後に質問を受け付け、書面と口頭で確認をしています。また、十分な時間を取り、ご納得頂いた上で同意を得て、ご契約して頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族様が面会にいらした際にや電話があった際にはご本人様の近状報告をし、ご要望やご意見を聞くように心がけております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の職員会議で意見や提案を聞き出し、議題として取り上げ皆で考える時間を設けております。また管理者も現場の現状把握、話しやすい環境づくりを心がけております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	資格支援制度の活用や希望休や職員の希望の勤務の要望を取り入れております。また、行事担当者を決めてやりがいを持てるように努めています		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	定期的に研修を実施し、知識・技術の向上に努めております。また管理者も各現場で業務にあたり、実際に職員と仕事をし、スキルの把握をしております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内の他事業所にて、勉強会や研修を実施しております。情報の共有・サービスの質の向上に努めております。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居時にはアセスメントを取り、ご本人様が不安に思っていることや、困っていることを探り、解決に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様より、入居者様にどのような生活を過ごして頂きたいのかご希望を聞き取りしています。面会時には入居者様のご様子を報告し、ご家族様と職員が協力し合える関係づくりを心がけております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	必要に応じて行政、医療機関へ受診や連絡行い、支援を行っております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	家事全般を入居者様と行い、お互いのことを良く知り、協力・信頼し合える関係づくりを心がけております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様には日々のご様子や、近況報告に加え、入居者様の行きたい所や食べたいものなどのご希望や、ご要望を実現するために協力を得ています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	電話や手紙の取り次ぎ、ご家族様・ご友人様が面会にいらした際にはお茶を提供し、くつろいで頂ける環境づくりをしています。また外出行事にご家族様やご友人様が参加されたこともあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	家事を協力して行ったり、レクリエーションを通して、喜びや楽しみを共有しています。散歩や体操など、お互いに誘い合って声をかけています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後であったも、相談に応じることをお伝えしております。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話の中で困っていることや、ご要望を聞き出し、個々の希望に沿った生活支援を心がけております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時にはご本人様の生活歴や病歴、どのようなサービスを利用されていたかなどを、個人表にまとめ情報の把握・共有に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	介護記録に24時間その方がどのように過ごされたか内容を記載し、現状把握に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	介護職、看護師、医師などから意見を求め、話し合いをし、ご家族様とご本人様のご希望を取り入れたサービス計画を作成しております。また、介護職員はカンファレンス・モニタリングに参加しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	介護記録に加え、日報用紙を活用しています。介護職員、看護師がそれぞれ気づきや特記事項などを記載し、情報の共有をしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	サービス提供事業所や、音楽ボランティア、傾聴ボランティアなどを活用しながら支援に取り組んでおります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	自治会や地域の行事に参加し、近隣の住民・商店の方と顔馴染みになれるように出かけた際には積極的に挨拶をし、楽しみのある暮らしができるよう支援しております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	訪問医を利用して頂いています。また、希望者には入居前のかかりつけ医を継続してご利用して頂くことも可能です。受診時はご家族様・事業所が協議の上、入居者様に適切な医療が受けられるように支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員を配置し、入居者の健康管理・心身の状況把握に努めています。訪問看護師は24時間オンコールに対応し、状況に応じた判断、指示を受けられるようにしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には訪問医から医療情報、施設からは日々の生活状況やご様子などの情報提供をしています。また、面会に伺い退院に向けて医療機関相談員と情報交換をしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化、看取りに関する指針について入居時に説明をし、同意を得ています。その方がどのような終末期を迎えるのが良いのかを話し合い、医療機関との相談・援助を行っております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対応についてはマニュアルを作成しています。看護師や消防隊員からの指導も受け、職員には研修や訓練を実施しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署立会いのもと、夜間想定も含めた避難訓練を実施しております。実践的な訓練後には災害図上訓練研修も行っております。また地域の防災訓練にも新型コロナウイルスが終息した際には参加する予定です。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者様の個々の生活歴や、価値観を大切に個性を損なわないように接し、人生の先輩として敬意を持ち、信頼関係を築くように心がけております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者様が、ご希望・ご要望等を話しやすい環境づくりを心がけています。また何かを決める際に悩まれている時は、選択肢を提供し、自分で決めたと、実感・納得できるように支援しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個々の生活リズムを尊重し、ご本人様の意向を伺い、それに沿った生活を過ごして頂くよう心がけております。体操したくない、食欲がないなどの気持ちを理解し、時間や日にちの変更をし対応しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎月の訪問理美容をご利用して頂いています。起床時や入浴後にはヘアセットや髭剃りを行っています。また職員と洋服や靴の組み合わせを選び、着用、お化粧をするなどして、おしゃれを楽しんで頂いております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	職員と一緒に調理や盛り付けをして頂いています。施設内で野菜を育て、経過を楽しまれています。また、お食事行事ではリクエストを伺い、それに沿った献立作りをしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎日の食事の摂取量、嚥下等の状態の観察・把握に努めています。また寒天ゼリーや、夏場にはスポーツドリンク、入居者様と作った梅ジュース、なども提供しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	口腔ケアの重要性について、訪問歯科医より指導を受けております。夜間は義歯をお預かりし、洗浄しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個々の排泄の間隔のパターンを観察し、トイレ誘導、声かけをしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	食事・水分の提供、促しを行い体操や散歩、園芸などで身体を動かしています。便秘傾向の方は看護師・訪問医に相談しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	ゆず湯や、菖蒲湯等の季節の湯を楽しんで頂いています。また浴室内で職員と歌を歌ったり、ご自身の話をされたりとリラックスした環境づくりを心がけております。体調不良時や、拒否がある際には入浴日や時間の変更をしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	眠気が強い際には昼寝を促したり、ソファにて休んで頂いたりしています。また、消灯時間も決めず、ご本人様が休みたい時間まで各々で過ごして頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬時のマニュアルを作成し研修をしています。服薬時には原則職員二名で口頭に加え、目で見て確認をしてから服薬を実施しています。薬の情報も確認できるようにファイリングしてあります。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	ご本人やご家族様から好きな事や趣味を伺い、家事や裁縫、盆踊りやスポーツ観戦等の好きな事を継続出来るように支援しております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日常的に散歩へ出かけています。また、近隣の食堂へ行ったり、ドライブや買い物、紅葉狩りなどにも出かけております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族様と相談した上で管理のできる方には所持して頂いています。お金の管理が困難な方でも買い物が出来るように、施設で立て替えしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	毎月お出しするご家族様への手紙は、居室担当者が書きますが、入居者様がメッセージを書かれることもあります。また、ご希望に応じて連絡し電話での会話の橋渡しをしております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節毎に作品を作り、展示しています。入居者様が書かれた詩や、ぬり絵、行事の際の写真なども飾っております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロア内にソファを設置し、利用者様同士、またはお一人で過ごせるスペースを作っています。他の階への行き来も自由にしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居者様の馴染みの家具や時計、仏壇など、ご本人が使い慣れた物をお持ち頂き、居心地よく安心出来る環境作りに努めております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	夜間はトイレの場所が分かるように明かりを付けたまま、扉を開けています。食席は混乱しないように必要以上に変更しないように心がけ、マグカップやお箸は、新しくしても同じ柄にするなどの工夫をしております。		

事業所名	花物語いそご
ユニット名	3階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	玄関や各フロアの目に触れる場所に理念を張り出し共有しています。また、毎朝の申し送りでも声に出して意識付けをしております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	日常的に散歩へ出かけ、地域の方や近隣の保育園児などと挨拶や世間話をしております。また、行事の際は近隣の商店で買い物をし入居者様と受け取りに出かけたりしております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地区の民生委員の方々に施設の見学会を実施し、見学後には施設の在り方等の説明をしております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は二ヶ月毎に開催し、事業所の報告をしております。また参加者から意見や助言を頂き、運営に活かしております。また、老人会や町内会の代表の方にも連絡を取り、新型コロナウイルスが終息した際にはお越し頂くことになっております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議や事故報告をしています。5月には磯子区役所からの傾聴相談を利用する予定であったが開催できず。コロナが終息したら訪問を依頼してきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	入居様様の日常行動を把握し、必要な方にはセンサーを設置させて頂き、身体拘束をしないケアに努めております。また虐待防止・身体拘束についての研修も行っております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	自己点検シートを定期的に活用し、職員の心身の状況の把握に努めております。また虐待防止の研修を行っております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度を利用している方もおります。契約時や運営推進会議でも制度の説明をしております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、説明後に質問を受け付け、書面と口頭で確認をしています。また、十分な時間を取り、ご納得頂いた上で同意を得て、ご契約して頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族様が面会にいらした際にや電話があった際にはご本人様の近状報告をし、ご要望やご意見を聞くように心がけております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の職員会議で意見や提案を聞き出し、議題として取り上げ皆で考える時間を設けております。また管理者も現場の現状把握、話しやすい環境づくりを心がけております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	資格支援制度の活用や希望休や職員の希望の勤務の要望を取り入れております。また、行事担当者を決めてやりがいを持てるように努めています		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	定期的に研修を実施し、知識・技術の向上に努めております。また管理者も各現場で業務にあたり、実際に職員と仕事をし、スキルの把握をしております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内の他事業所にて、勉強会や研修を実施しております。情報の共有・サービスの質の向上に努めております。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居時にはアセスメントを取り、ご本人様が不安に思っていることや、困っていることを探り、解決に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様より、入居者様にどのような生活を過ごして頂きたいのかご希望を聞き取りしています。面会時には入居者様のご様子を報告し、ご家族様と職員が協力し合える関係づくりを心がけております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	必要に応じて行政、医療機関へ受診や連絡行い、支援を行っております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	家事全般を入居者様と行い、お互いのことを良く知り、協力・信頼し合える関係づくりを心がけております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様には日々のご様子や、近況報告に加え、入居者様の行きたい所や食べたいものなどのご希望や、ご要望を実現するために協力を得ています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	電話や手紙の取り次ぎ、ご家族様・ご友人様が面会にいらした際にはお茶を提供し、くつろいで頂ける環境づくりをしています。また外出行事にご家族様やご友人様が参加されたこともあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	家事を協力して行ったり、レクリエーションを通して、喜びや楽しみを共有しています。散歩や体操など、お互いに誘い合って声をかけています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後であったも、相談に応じることをお伝えしております。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話の中で困っていることや、ご要望を聞き出し、個々の希望に沿った生活支援を心がけております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時にはご本人様の生活歴や病歴、どのようなサービスを利用されていたかなどを、個人表にまとめ情報の把握・共有に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	介護記録に24時間その方がどのように過ごされたか内容を記載し、現状把握に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	介護職、看護師、医師などから意見を求め、話し合いをし、ご家族様とご本人様のご希望を取り入れたサービス計画を作成しております。また、介護職員はカンファレンス・モニタリングに参加しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	介護記録に加え、日報用紙を活用しています。介護職員、看護師がそれぞれ気づきや特記事項などを記載し、情報の共有をしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	サービス提供事業所や、音楽ボランティア、傾聴ボランティアなどを活用しながら支援に取り組んでおります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	自治会や地域の行事に参加し、近隣の住民・商店の方と顔馴染みになれるように出かけた際には積極的に挨拶をし、楽しみのある暮らしができるよう支援しております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	訪問医を利用して頂いています。また、希望者には入居前のかかりつけ医を継続してご利用して頂くことも可能です。受診時はご家族様・事業所が協議の上、入居者様に適切な医療が受けられるように支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員を配置し、入居者様の健康管理・心身の状況把握に努めています。訪問看護師は24時間オンコールに対応し、状況に応じた判断、指示を受けられるようにしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には訪問医から医療情報、施設からは日々の生活状況やご様子などの情報提供をしています。また、面会に伺い退院に向けて医療機関相談員と情報交換をしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化、看取りに関する指針について入居時に説明をし、同意を得ています。その方がどのような終末期を迎えるのが良いのかを話し合い、医療機関との相談・援助を行っております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対応についてはマニュアルを作成しています。看護師や消防隊員からの指導も受け、職員には研修や訓練を実施しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署立会いのもと、夜間想定も含めた避難訓練を実施しております。実践的な訓練後には災害図上訓練研修も行っております。また地域の防災訓練にも新型コロナウイルスが終息した際には参加する予定です。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者様の個々の生活歴や、価値観を大切に個性を損なわないように接し、人生の先輩として敬意を持ち、信頼関係を築くように心がけております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者様が、ご希望・ご要望等を話しやすい環境づくりを心がけています。また何かを決める際に悩まれている時は、選択肢を提供し、自分で決めたと、実感・納得できるように支援しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個々の生活リズムを尊重し、ご本人様の意向を伺い、それに沿った生活を過ごして頂くよう心がけております。体操したくない、食欲がないなどの気持ちを理解し、時間や日にちの変更をし対応しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎月の訪問理美容をご利用して頂いています。起床時や入浴後にはヘアセットや髭剃りを行っています。また職員と洋服や靴の組み合わせを選び、着用、お化粧をするなどして、おしゃれを楽しんで頂いております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	職員と一緒に調理や盛り付けをして頂いています。施設内で野菜を育て、経過を楽しまれています。また、お食事行事ではリクエストを伺い、それに沿った献立作りをしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎日の食事の摂取量、嚥下等の状態の観察・把握に努めています。また寒天ゼリーや、夏場にはスポーツドリンク、入居者様と作った梅ジュース、なども提供しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	口腔ケアの重要性について、訪問歯科医より指導を受けております。夜間は義歯をお預かりし、洗浄しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個々の排泄の間隔のパターンを観察し、トイレ誘導、声かけをしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	食事・水分の提供、促しを行い体操や散歩、園芸などで身体を動かしています。便秘傾向の方は看護師・訪問医に相談しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	ゆず湯や、菖蒲湯等の季節の湯を楽しんで頂いています。また浴室内で職員と歌を歌ったり、ご自身の話をされたりとリラックスした環境づくりを心がけております。体調不良時や、拒否がある際には入浴日や時間の変更をしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	眠気が強い際には昼寝を促したり、ソファにて休んで頂いたりしています。また、消灯時間も決めず、ご本人様が休みたい時間まで各々で過ごして頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬時のマニュアルを作成し研修をしています。服薬時には原則職員二名で口頭に加え、目で見て確認をしてから服薬を実施しています。薬の情報も確認できるようにファイリングしてあります。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	ご本人やご家族様から好きな事や趣味を伺い、家事や裁縫、盆踊りやスポーツ観戦等の好きな事を継続出来るように支援しております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日常的に散歩へ出かけています。また、近隣の食堂へ行ったり、ドライブや買い物、紅葉狩りなどにも出かけております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族様と相談した上で管理のできる方には所持して頂いています。お金の管理が困難な方でも買い物が出来るように、施設で立て替えしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	毎月お出しするご家族様への手紙は、居室担当者が書きますが、入居者様がメッセージを書かれることもあります。また、ご希望に応じて連絡し電話での会話の橋渡しをしております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節毎に作品を作り、展示しています。入居者様が書かれた詩や、ぬり絵、行事の際の写真なども飾っております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロア内にソファを設置し、利用者様同士、またはお一人で過ごせるスペースを作っています。他の階への行き来も自由にしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居者様の馴染みの家具や時計、仏壇など、ご本人が使い慣れた物をお持ち頂き、居心地よく安心出来る環境作りに努めております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	夜間はトイレの場所が分かるように明かりを付けたまま、扉を開けています。食席は混乱しないように必要以上に變更しないように心がけ、マグカップやお箸は、新しくしても同じ柄にするなどの工夫をしております。		

2020年度

## 目標達成計画

事業所名 花物語いばし  
 作成日: 令和3年4月4日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		災害時等に対して実際に遠回りで行動が出来るか不明な点 あやふさなことで行動がとれるようにする	想定訓練とは別に通常業務の隊に事前に伝えずには災害訓練を行い遠回りに連携と取りよる	3ヶ月に1度程度按ずうで訓練 遠回りに重なるためにどのよう行動するかを会議で発表していくことを 積み重ねていく	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月